

歯科医師臨床研修を終えて

東京医科歯科大学歯学部附属病院
歯科レジデント
則武加奈子

平成19年10月2日

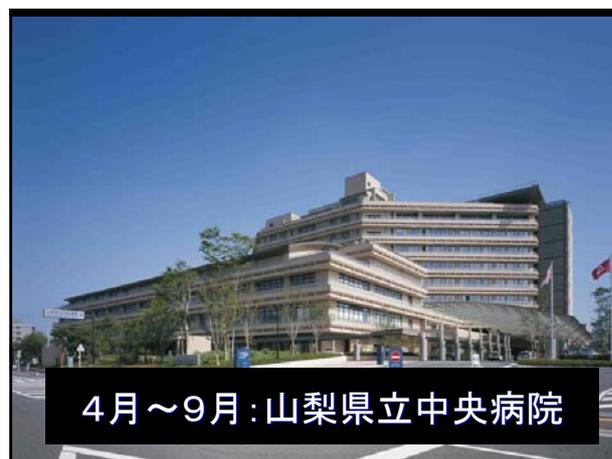
平成18年度 東京医科歯科大学歯学部附属病院臨床研修プログラム

プログラム名	コース名	平成18年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
プログラム1 (40名)	A	協力型研修施設						総合診療+全身管理研修+選択研修					
	B	保存系・補綴系・口腔外科系から2系のローテーション											
	C	総合診療+全身管理研修+選択研修						協力型研修施設					
	D	保存系・補綴系・口腔外科系から2系のローテーション											
プログラム2 (30名)	E	総合診療+全身管理研修(必修)+選択研修											
	F	保存系・補綴系・口腔外科系ローテーション											

研修プログラム

東京医科歯科大学歯学部附属病院
臨床研修プログラム
プログラム1コースAを選択

2006年4月～9月 山梨県立中央病院(協力型)
10月～2007年3月 東京医科歯科大学
歯学部附属病院 (管理型)



研修環境の概要(協力型)

- 山梨県立中央病院
- 所在地 山梨県甲府市富士見1-1-1
- 施設の概要(平成18年度概要より)
 - 病床数 669床(うち口腔外科:8-12床)
 - 一日平均外来患者数 998.9人(うち口腔外科:22.8人)
 - 医師数:104名(口腔外科歯科医師数:3名含む)
 - (口腔外科)ユニット・チェアー数 4台
 - 年間手術数108件

管理型施設との連携体制

- 研修医:研修記録(1枚/週)と1週間のフィードバック(1枚/週)を毎週金曜日に東京医科歯科大学歯学部附属病院歯科臨床研修センターへFAXにて提出

●指導医:研修管理部会 2日/年

指導体制

- プログラム責任者: 三澤常美
- 指導歯科医: 2名(三澤常美、河西八郎)
- その他、歯科衛生士、看護師、他科のDrのサポートあり(病理、耳鼻科、皮膚科、救急、緩和ケア、内科など)。

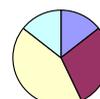
研修内容

研修の内訳



■ 座学 ■ 診療補助 □ 実習 □ 自験

自験の内訳



■ 初診問診 ■ 外来小手術 □ 病棟業務 □ その他

埋伏歯抜歯	150
抜歯	100
全麻オペ	30
局麻オペ	15
顎関節治療	10
骨折	5

1週間の流れ

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
1	病棟チェック						
9	外来					病棟診察・書類作成等	
10	病棟診察						
11	外来新患		入院患者オペ				
12							
13	お昼休み						
14	外来小手術・外来再来患者処置等						
15	手術IC						
16							
17							
18	病棟業務						
19							
20							
21							
22							

その他...

- 院内学術集会での症例発表および論文作成
・「口蓋のMelanoma in situに関する一例」
- 山梨県口腔外科集団会での症例発表
・「左上顎腺様歯原性腫瘍(AOT)の一例」

評価方法

- 指導医による日々の診療の中でステップごとの評価。
(研修が進むごとに、徐々に仕事を任せられる機会が増えていった。)
- 指導医は、研修終了時に管理型へ、規定のチェックシートに評価を記入し提出。

勤務環境

- 身分: 非常勤職員(新制度研修医)
- 待遇
 - ・給与: 月額30万円
 - ・社会保険: 有
 - ・労働保険: 無
 - ・宿舎: 有

研修を通じて学んだこと(4月～9月)

- 診断の難しさと大切さ
- 患者への説明・ICの重要性
- 患者(特に悪性腫瘍や、全身疾患を患っている)の全身状態の把握とコントロール(バイタルサイン、輸液、投薬のコントロールなど)
- CTやMRIなどの画像診断や、血液検査などの臨床検査データの読み方
- 救急患者来院時の処置と対応
- 他科との連携、コンサルテーション



10月～3月:東京医科歯科大学
歯学部附属病院

研修環境の概要(管理型)

- 東京医科歯科大学歯学部附属病院
- 所在地 東京都文京区湯島1-5-45
- 施設の概要
 - 歯科医師数(常勤医師数)365名
(うち指導歯科医師数)166名
 - ユニット・チェア数 314台
 - 病床数 60床
 - 一日平均患者数 1741.1人(平成18年度)

第2総合診療室での指導体制

- プログラム責任者:新田 浩
- 副プログラム責任者:濱野英也
- 研修医のための診療室(一日平均来院患者数約200名)
- 研修医各々に患者を配当(平均配当数約30名)
- ユニット:41台(うち10台はライター用)
- 指導歯科医:常時10名のライター
 - 歯科総合診療部3名・保存科5名・補綴科3名・口腔外科1名の教員
 - 学外の臨床教授6名および非常勤講師3名(不定期)

研修風景

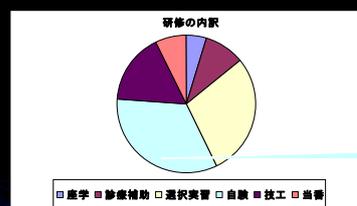


第2総合診療室での診療風景



研修医技工室での技工士による指導

研修内容



配当患者数:26名
(半年間)

自験ケース数

保存修復	37
歯周治療	3
Pメンテ	10
歯内療法	3
CrBr	4
義歯	3
抜歯	10

1週間の流れ

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9					
10	アレルギー	指導医		アレルギー	当番
11	外来	アシスト		外来	
12	お昼休み				
13					
14	インプラント	治療		インプラント	
15	外来			外来	セミナー
16					
17					
18					
19	自己研修(技工・ポートフォリオ記入等)				
20					
21					
22					

評価方法



- ケースノルマ
各認定症例+総得点数500点以上
→獲得点数780点
- 選択研修での評価
- 1週間のフィードバック・ポートフォリオの提出
- 面接
- 症例発表(通年のみ)

勤務環境

- 身分: 非常勤職員(研修医)
- 待遇
 - ・給与: 9050円(日給)
 - ・社会保険: 有
 - ・労働保険: 有

研修を通じて学んだこと(10月~3月)

- 1口腔単位での診断、治療方針の立て方
- 患者への治療内容等の説明の仕方
- 保存、補綴の基本的治療の手技
- 大学病院ならではの歯科アレルギー外来、インプラント外来といった(特殊)専門外来での治療の方法
- 口腔内写真など資料採得方法

後期研修について

- 東京医科歯科大学歯学部附属病院
歯科レジデントCコース
- インプラント外来での専門科研修

後期研修 コース名	平成19年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A	総合診療研修+専門科研修A											
B	総合研修+選択研修											
C	専門科研修B											

1週間の流れ

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
7					
8	勉強会				勉強会
9					
10	外来(オベ含む)				予診
11					
12	お昼休み				
13					
14	外来				
15					
16					
17	勉強会	大学院 講義	グループ カンファ		医局会
18					
19					
20	研究・技工等				
21					
22					

研修医を終えて

- 今回研修したプログラムにとても満足している。
- しかし、現在のプログラムでは、コアの部分が見えづらい。各研修施設・プログラムに差があるときに、不安を感じる。
- 研修終了後の進路や、その先の方向性は人それぞれであるので、研修医各々にとって学びたいものが必ずしも同じものではないはず。

研修プログラムはコアを確実に修得し、かつ幅広い選択肢(プログラム)があるプログラムであってほしい。

御清聴ありがとうございました